

# エコで楽しい次世代カー 若者にもアピール 東京モーターショー10月29日から

2015年10月11日  
朝日新聞デジタル  
2015年10月9日19時48分

29日から始まる東京モーターショーで、国内自動車大手8社の出展内容が8日、ほぼ出そろった。燃料電池車(FCV)や電気自動車(EV)では、ための電気を住宅などで使える技術のアピール。若者を引きつけようと、クルマの構造をむき出しにしたり、新たな楽しみ方を提案したりする試作車が出展される。

以下 第44回 東京モーターショー2015 概要

一般社団法人日本自動車工業会(会長:池 史彦)は、第44回東京モーターショー2015を2015年10月29日(木)から11月8日(日)までの期間、東京ビッグサイト(江東区・有明)にて開催することを決定しました。

今回は、第43回ショー(2013年)で実施した人数限定の「プレビューナイト」を「プレビューデー」として開催時間を拡大するほか、一般公開日を従来より1日前倒してスタートする等、より多くのお客様に楽しんで頂けるようにいたしました。なお、前回ショー(2013年)より会期を3週間前倒したことにより、2009年以前の従来の10月下旬開幕の会期に戻り、ロサンゼルス及び広州モーターショーの開催スケジュールとの重複は解消されました。

第44回東京モーターショー2015は、引き続き、乗用車、商用車、二輪車、カロッツェリア、車体、部品・機械器具関連製品、自動車関連サービスを含む総合ショーとして開催します。出展募集については本年10月6日(月)より開始し、募集締切は2015年1月16日(金)を予定しています。



トヨタ自動車の目玉は、昨年未発売した燃料電池車「ミライ」を発展させた試作車「FCVプラス」だ。水素エネルギーが家庭に普及した十数年後をイメージし、FCVに搭載された水素を使う発電機を取り外して持ち運べるようにし、家庭用の発電機としても使えるようにした。「走っていない時でも社会に役立てる」と開発担当者は言う。

「機械の造形が持つ魅力を伝えよう」とつくったのが試作車「KIKAI(キカイ)」。ボディに覆われていたエンジンやタイヤのバネなどを丸見えにした。ともに発売は未定。

日産自動車は軽の試作EV「テアトロ フォー デイズ」を公開。2020年以降に運転免許を持つようになる若者向けで、車内で映画や画像を楽しめる。

三菱自動車も、20年の実用化を想定した小型SUV(スポーツ用多目的車)の試作EV「eXコンセプト」を出展。バッテリーの性能向上を見込み、電気だけで走れる距離を400キロとした。

会場は東京ビッグサイト(東京都江東区)。

参加企業は部品メーカーを含め計160社。

フィアット・クライスラー・オートモービルズ(FCA)が8年ぶりに復帰する一方、スウェーデンのボルボなど前回参加の海外勢3ブランドが出展を見送った。

世界初として披露する市販車や試作車は前回と同じ76台。(友田雄大、田中美保)

